

地域の子育てサポーター

子育て

ボランティア

乳幼児や親とのふれあいを通じ、地域で子育てをサポートする「子育てボランティア」。



今月は、少子化が進み、今後ますますその役割が期待される子育てボランティアの概要をご紹介します。

地域で支える子育て

幼児やその親と接していると、自分が子育てをしていたころを懐かしく思い出します。「ボランティア」といいながら、親子と一緒に遊んだり、おもちゃを作ったりして自分も楽しんでるんですよ。そう話すのは、清田中央地区に住む小山田洋子さん。仕事

が休みの日には、近所の清田中央児童会館で開かれる「子育てサロン」に出掛け、地域の親子とふれあいながら、子育てボランティアとして活動しています。小山田さんが子育てボランティアを始めたのは昨年秋。過去の経験を生かしたいと、子育て推進課清田センターが主催する「子育てボランティア

ア講習会」を受講したのがきっかけでした。それから半年、小山田さんは「子育ての不安や悩みを抱えている親の、身近な相談相手になってあげたい」と抱負を語ります。

核家族が進むとともに、家庭と地域との関係が薄れた現在、子育てに関する悩みや不安を抱えた親は少なくありません。このような親たちにとって、小山田さんのような存在は、大きな心の支えとなります。

本市では、平成九年から始めた地域子育て支援事業の中で、子育て中の親が地域の人たちとつながりを持ち、地域全体で子育てを支えていけるよう、環境づくりを進めています。その一つが、子育てボランティアの育成と支援です。

子育てボランティアの活動とその支援

子育てボランティアの主な活動は、区内の各児童会館を会場として毎週行う「子育てサロン」や、年に数回開催す

る「とんとんピック」などの「地域のふれあい交流事業」で、親子とかわることです。地域の親子が集まるこれらの行事で、参加した親子と一緒に遊んだり絵本を読んで聞かせたりしながら交流を深め、時には子育てに不安を持つ親の、良き相談相手にもなります。

このほか、本市が主催する講演会などの行事では、託児ボランティアとしても活躍しています。

▼1月に行われた「とんとんピック」では、高校生や大学生も子育てボランティアとして大活躍しました



始めませんか？
子育てボランティア

現在区内では、主婦や独身の会社員、学生など男女合わせて約百人の子育てボランティアが、それぞれの都合に合わせて活動しています。

比較的若い世帯が多い清田区。地域での子育てサポーターとして一層その役割が期待される子育てボランティアに、皆さんの経験と時間を生かしてみませんか。

問い合わせ

子育て推進課清田センター
☎(889) 2400 (内線570)